

# 特集 住み慣れたまちで いつまでも暮らし続けるために

～日野郡3町と鳥取県の新たな取組がスタート～

- ◇日野郡では、これから急激に人口が減少していくことが推計されており、小規模集落の維持をはじめとする多くの課題が顕在化し多様化することが想定されます。
- ◇日野郡3町はそれぞれが、地域の賑わいを守り、地域住民が生き生きと暮らしていけるよう工夫しながら取り組んでいます。単独の町だけでは解決しにくい課題が多くなっています。
- ◇そこで、日野郡3町と鳥取県は『鳥取県日野郡連携会議』で、喫緊の課題である「住み慣れた地域で暮らし続ける仕組みづくり」及び「地域の担い手の育成、確保」について議論し、次に紹介する取組を連携して進めて行くことを共同で宣言しました。
- ◇日野振興センターでは各町役場と協力して、持続可能な地域づくりを進めていきます。



平井知事と3町長が共同宣言に署名しました。

## 住み慣れた地域で 暮らし続ける仕組みを作る

### ① 持続可能な地域交通体系を構築するため

住み慣れた地域で暮らし続けていくためには、買物や病院に行くための交通手段が必要です。  
現在3町では交通事業者の協力を得て乗合バスやタクシーが運行されていますが、乗客の減少や運転士の確保など、様々な検討が必要になっています。将来にわたって、住民のみなさんの交通手段を確保していくためにはどういう方法があるのか？

### ② 住民自らが地域課題を考え解決する取組を応援します

この課題に対し3町と県は、地域の実情に応じた交通体系を目指して、これまでのやり方にとらわれず先進事例の調査や地域の状況の分析、施策の検討などの取組を連携して進めています。  
人口減少や高齢化により、集落の共同作業や生活環境の維持が難しくなっています。今まで出来ていたことができなくなるといふ困りことは、中山間地域ではどこでも抱えている問題です。日野郡3町と県では、集落の方が膝を交えて話し合い、自分たちで課題を見つけ、何にどう取組むかを決める、行政がその取組を支援する、そういった仕組みづくりを始めたところです。  
今年度は、日野郡各町でそれぞれ3地区をモデル地区として、座談会などを開いています。  
みなさんの集落でも、モデル地区を参考にして、新たな取組を始めてみませんか。

## 災害時の学校給食相互支援

平成29年度の鳥取県日野郡連携会議で、日野郡3町と県は、「災害に強い日野郡づくり相互支援協定」を締結し、それを具体的に推進するため「災害等発生時における日野郡3町の小中学校給食の相互支援に係る協定」を締結しました。  
この協定に基づき、平成30年度には図上訓練や配送訓練を行い、今年度は、江府町学校給食センターで調理した給食を日野町内の黒坂小、根雨小、日野中学校に運んで児童生徒と教職員が食べる「実食訓練」を、10月9日に行いました。  
当日は、計画どおり学校給食衛生基準をクリアして、給食を提供することができました。今後も引き続き訓練を重ね、非常時の速やかな協力体制に備えます。

## 将来の地域の担い手を、 育てる・見つける

### ① 「公設塾」を設立し、 高校生に「ふるさと教育」を

日野郡内の小中学校では、地域の人や産業、暮らしなどを学ぶ「ふるさと教育」を実施していますが、高校生になると約8割が郡外へ進学し、地域との関係性が希薄になり、進学や就職を機に日野郡を離れてしまう一つの原因になっていると思われています。

そこで、将来地元に戻って地域の担い手となり地域の課題を解決する、そのような人材を育成したいと考え、日野郡3町が協力して「公設塾」を設け、若い世代と地域の結びつきを充実強化させることとしました。

塾の対象は、日野郡在住の高校生と日野高校の生徒です。

公設塾は、いわゆる「学習塾」と同様に教科学習も行いますが、主体的に自ら行動し、仲間とつながり、自身と地域の未来を描ける人材を育てるため、地域の中に出ていく「課題解決学習」や様々な体験も行います。学習内容は、塾生一人一人のニーズに合わせて個別に組んでいきます。

### ② 「関係人口」や移住定住 等を増やす

現在それぞれの町では、移住定住の推進や、町内の婚活支援など、いろいろな工夫をして地域の担い手確保に取り組んでいます。新しい地域への担い手として「関係人口」が注目されています。

関係人口とは、移住でも観光でもない、地域と多様に関わる人々のことで、地域の出身の人や過去に勤務していたり住んでいた人、行き来する人などです。  
全国で人口減少する中、日野郡を元気にするために、移住定住のほかこの「関係人口」など、多様な地域の担い手を増やすことに力を入れて取り組んでいきます。

## みらいチャレンジ教育 今春スタート 塾生募集中!

日野郡 公設塾

### 01 公設塾「まなびや縁側」は2020年4月スタート

- 開講時間/毎週月～金曜日 16時～21時 □場所/日野町山村開発センター
- 対象者/日野郡在住の高校生、日野高校生徒
- 受講料/月額5,000円 ※4～5月はトライアル期間:無料(予定)

### 02 プログラム(イメージ)

- 16:00～18:00 自主学習**  
宿題や課題、授業の予習・復習など、自分が今取り組みたいことを深める時間。必要に応じて講師がサポート
- 18:00～20:00 個別指導**  
講師が個別指導で、それぞれ生徒のニーズに合わせてサポートします
- 20:00～21:00 自立学習**  
学んだことをさらに深める時間。自分の時間を有効に使って、成長につなげよう!

### 03 「やりたい!」をカタチに「まなびや縁側」の特徴

- ✓生徒一人一人のニーズに合わせた学習システム
- ✓個別指導で学びたいことを深められる!
- ✓AO入試や推薦入試に欠かせない「体験」の機会を提供
- ✓学校では出会うことができない地域で活躍する人や、日本や世界で活躍する人を招いた特別講座を開催
- ✓ふるさとが「学びのフィールド」に!地域資源を使った課題解決学習
- ✓高校生の「やりたい!」をカタチにできる!

公設塾に関する問合せ先/日野郡ふるさと教育推進協議会事務局(江府町教育委員会事務局内) 電話:0859-75-2223